

報道関係者 各位

2022. 5. 25  
<配信枚数2枚>

## 立命館大学国際平和ミュージアム平和教育研究センター

## 特別講演会「生きる場の思想」開催

日時：2022年6月4日（土）13：30～16：00

会場：衣笠キャンパス 末川記念会館 講義室・Zoom（オンライン）

立命館大学国際平和ミュージアム平和教育研究センターは、6月4日（土）、特別講演会「生きる場の思想」を開催いたします。

戦後の日本社会におけるさまざまな反戦平和運動・文化について、地域的な裾野の広がりの中から歴史的な評価が刷新されつつあります。

本企画では、戦後の日本社会におけるさまざまな反戦平和運動・文化において中心的な役割を果たし、活動を続けてきた花崎皋平氏から、北海道におけるベトナム反戦運動への関わりから伊達火力発電所・泊原発反対の地域住民運動、アイヌ民族の復権運動、アジアとの連帯運動への関わりと、自身が歩いた風景や出会った人々の顔から見えてくる地平についてお話しいたします。また、もう一人の講演者であるアイヌの歌と踊りのパフォーマンスアーティストの原田公久枝氏は、「生きづらさ」を抱えた人からみた「共生」への疑問をテーマにお話しいたします。

本企画を通して、関西では知られていない北海道／アイヌモシリ（アイヌ語で人間の住む静かなる大地という意味）の視点から戦後社会をとらえ返し、改めて平和の意味を考える機会とします。

記

日 時：2022年6月4日（土）13：30～16：00 ※13：00 開場

会 場：①立命館大学衣笠キャンパス 末川記念会館 1階 講義室  
②Zoom によるオンライン

講 師 と：花崎皋平『「共生」をめぐって』

講演タイトル 原田公久枝「タントアナクネピリカ 今日の良い日だ」

対 象：どなたでもご参加いただけます。ただし、会場は先着 100 人

参 加 費：無料

申 込 方 法：会場、Zoom ともに事前申し込み制（6月2日締切）

<https://www.ritsumeikan-wp-museum.jp/news/20220513/> からお申し込み  
ください。

主 催：立命館大学国際平和ミュージアム平和教育研究センター

※講師の詳細は別紙をご覧ください。

以上

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ

## ●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学国際平和ミュージアム 平和教育研究センター 担当：兼清

TEL. 075-465-8354

## 別紙

講師プロフィール ※敬称略

花崎 皋平 (はなざき こうへい)

1931年東京生まれ。北海道大学教員を経て、著述業。ベトナム反戦運動、伊達火力発電所・泊原発反対など地域住民運動、アイヌ民族の復権運動に関わる。1989年、ピープルズ・プラン 21世紀国際民衆行事で世界先住民会議の運営事務局に参加。さっぽろ自由学校「遊」、ピープルズ・プラン研究所の創設にかかわる。主著として『田中正造と民衆思想の継承』(七つ森書館)、『詩集 アイヌモシリ の風に吹かれて』(クルーズ)、2022年に戦後から現在に至る精神史的歩みを『生きる場の思想と日々』(藤田印刷エクセレントブックス)にまとめる。

原田 公久枝 (はらだ きくえ)

1967年北海道河西郡芽室町生まれ。5歳の頃より、帯広カムイトゥウポ保存会にて祖母、加藤なみえらにアイヌの歌と踊りを習う。現在、パートをしながらアイヌの活動(歌・踊り・講演・執筆・お笑い)を行う主婦。アイヌの歌と踊りの姉妹ユニット・フンペシスターズのメンバー。さまざまな「生きづらさ」を抱える人たちの思いをつづる場として、フリーペーパー「RUYKA ITAK(ルイカ イタク)」を発刊。「おかあちゃんとおとちゃんの話」『家族写真をめぐる私たちの歴史』所収(お茶の水書房)。

●コーディネーター・司会

番匠 健一 (ばんしょう けんいち)

広島国際学院大学准教授、立命館大学国際平和ミュージアム平和教育研究センターリサーチャー。専門は歴史社会学、地域研究。